

菊池広域連合の財政事情

令和6年6月1日公表

目 次

まえがき	1
1 令和5年度下半期における一般会計の執行状況	2
2 令和5年度下半期における土地取得特別会計の執行状況	2
3 令和5年度広域連合関係市町村負担金の状況	3
4 広域連合財産の状況	4
5 令和6年度一般会計の状況	
1) 令和6年度予算編成の基本的な考え方	6
2) 主な事業	8
3) 当初予算の推移	10
4) 歳入予算項目別構成比	11
5) 歳出予算目的別構成比	12
6) 歳出予算性質別構成比	13

ま え が き

この「菊池広域連合の財政事情」は、地方自治法及び菊池広域連合財政事情公表に関する条例の規定により、毎年6月1日と12月1日の2回公表しているものです。

今回は、令和5年度下半期（令和5年10月1日から令和6年3月31日）における一般会計等の執行状況や、令和6年度一般会計当初予算などを内容としております。

1 令和5年度 下半期における一般会計の執行状況

■歳入

(単位:千円、%)

区 分	当初予算額	第1号 (7月補正)	第2号 (8月専決)	第3号 (10月補正)	第4号 (12月補正)	第5号 (2月補正)	継続費及び繰 越事業費繰越 財源充当額	最終予算額	上半期 収入済額	下半期 収入済額	収入済額	収入率
1 分担金及び負担金	3,340,715							3,340,715	2,672,572	668,143	3,340,715	100.0%
2 使用料及び手数料	252,899					9		252,908	132,695	132,291	264,986	104.8%
3 国庫支出金												0.0%
4 県支出金	6,012					20		6,032		6,032	6,032	100.0%
5 財産収入	950					2,595		3,545	5	3,538	3,543	99.9%
6 繰入金	295,604	2,858	2,750	1,116	70	△ 100,744		201,654		201,654	201,654	100.0%
7 繰越金	117,455					△ 16,917	82,710	183,248	184,265	89,710	273,975	149.5%
8 諸収入	198,661					79,582		278,243	132,871	167,652	300,523	108.0%
9 連合債	266,400					△ 60,800	252,500	458,100		457,900	457,900	100.0%
合 計	4,478,696	2,858	2,750	1,116	70	△ 96,255	335,210	4,724,445	3,122,408	1,726,920	4,849,328	102.6%

※47億2,445万5千円の最終予算(繰越含む)に対し、収入済額は48億4,932万8千円、102.6%の収入率となっています。

■歳出(目的別)

(単位:千円、%)

区 分	当初予算額	第1号 (7月補正)	第2号 (8月専決)	第3号 (10月補正)	第4号 (12月補正)	第5号 (2月補正)	継続費及び繰 越事業費繰越 財源充当額	予備費支出 及び流用増減	最終予算額	上半期 支出済額	下半期 支出済額	執行済額	執行率
1 議会費	6,306			249		△ 88			6,467	522	5,075	5,597	86.5%
2 総務費	90,550	2,693		867		△ 3,355			90,755	27,046	60,595	87,641	96.6%
3 民生費	65,674				70	△ 322			65,422	13,046	51,081	64,127	98.0%
4 衛生費	1,628,548	165				△ 30,392			1,598,321	559,709	1,013,134	1,572,843	98.4%
5 消防費	2,037,412		2,750			△ 64,797	335,210		2,310,575	893,725	1,395,254	2,288,979	99.1%
6 公債費	628,206					△ 1,165			627,041	281,167	345,872	627,039	100.0%
7 予備費	22,000					3,864			25,864				0.0%
合 計	4,478,696	2,858	2,750	1,116	70	△ 96,255	335,210		4,724,445	1,775,215	2,871,011	4,646,226	98.3%

※47億2,445万5千円の最終予算(繰越含む)に対し、執行済額は46億4,622万6千円、98.3%の執行率となっています。

2 令和5年度 下半期における土地取得特別会計の執行状況

■歳入

(単位:千円、%)

区 分	当初予算額	第1号 (2月補正)	継続費及び繰 越事業費繰越 財源充当額	最終予算額	上半期 収入済額	下半期 収入済額	収入済額	収入率
2 繰入金		500		500		437	437	87.4%
4 連合債	124,200	△ 500		123,700				
合 計	124,200			124,200		437	437	0.4%

※1億2,420万円の最終予算に対し、収入済額は43万7千円、0.4%の収入率となっています。これは土地の購入を翌年度に繰り越したことによるものです。

■歳出(目的別)

(単位:千円、%)

区 分	当初予算額	第1号 (2月補正)	継続費及び繰 越事業費繰越 財源充当額	予備費支出 及び流用増減	最終予算額	上半期 支出済額	下半期 支出済額	執行済額	執行率
1 諸支出金	124,200				124,200		337	337	0.3%
合 計	124,200				124,200		337	337	0.3%

※1億2,420万円の最終予算に対し、執行済額は33万7千円、0.3%の執行率となっています。これは土地の購入を翌年度に繰り越したことによるものです。

3 令和5年度 広域連合関係市町負担金の状況

■市町負担金の状況

(単位：千円、%)

市町村名	当初 予算額	補正額	最終 予算額	上半期 収入済額	下半期 収入済額	収入済額	収入率	備 考
菊池市	980,188	0	980,188	784,150	196,038	980,188	100.0%	
合志市	980,432	0	980,432	784,346	196,086	980,432	100.0%	
大津町	657,207	0	657,207	525,766	131,441	657,207	100.0%	
菊陽町	722,888	0	722,888	578,310	144,578	722,888	100.0%	
合 計	3,340,715	0	3,340,715	2,672,572	668,143	3,340,715	100.0%	

■市町負担金の内訳

(単位：千円)

市町村名	管理費	介 護 保険費	障害者総合 支援費	火葬場費	し 尿 処理費	消防費	ごみ処理費	合 計
菊池市	23,674	17,189	3,478	19,845	129,460	525,192	261,350	980,188
合志市	30,718	15,248	4,020	25,751	21,524	530,030	353,141	980,432
大津町	18,522	8,737	2,623	15,526	41,098	353,175	217,526	657,207
菊陽町	22,261	8,926	2,423	18,661	18,303	394,968	257,346	722,888
合 計	95,175	50,100	12,544	79,783	210,385	1,803,365	1,089,363	3,340,715

その他備品	ラムシリンダー	1 台	台	1 台
	油圧スプレッダー	2 台	台	2 台
	簡易画像探査機	1 台	台	1 台
	無人航空機	1 台	台	1 台
	除染シャワー	1 台	台	1 台
	送排風機	1 台	台	1 台
	マンホール救助器具	1 台	台	1 台
	赤外線サーマルカメラ	1 台	台	1 台
	人工呼吸器	5 台	1 台	6 台
	心電計(モニター)	6 台	1 台	7 台
	血中酸素飽和度測定器	1 台	台	1 台
	マイストレッチャー	4 台	1 台	5 台
	自動心肺蘇生器	4 台	台	4 台
	ポンプユニット	1 台	台	1 台
	重量物排除器具	1 台	台	1 台
	救助用支柱器具	1 台	台	1 台
	レスキューフレーム	1 台	台	1 台
	消防用設備等訓練機器	0 台	1 台	1 台
	小 計	66 台	7 台	73 台
	合 計	104 台	12 台	116 台

3 債 権

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
貸 付 金	千円	千円	0 千円

4 基 金

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
不 動 産	土地	㎡	㎡	㎡
	山林	㎡	㎡	㎡
	立 木			
有 価 証 券		千円	千円	千円
現 金		649,437 千円	709,589 千円	1,359,026 千円

5 令和6年度一般会計の状況

1) 令和6年度 予算編成の基本的な考え方

国の動向

我が国は、新型コロナウイルス感染症や世界的な物価高騰への対応、エネルギーの安定供給確保など様々な課題に直面しており、この状況は当面続くものと考えられている。

このような中、内閣府が8月に発表した「月例経済報告」によると、景気は、緩やかに回復しているとし、先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があるとしている。

本年6月16日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2023」(骨太の方針)において、我が国はロシアによるウクライナ侵略、インフレ圧力と欧米各国の急速な金融引締めによる世界経済の下振れリスクへの対応、世界規模での気候変動や災害問題、エネルギー・食糧問題を含む経済安全保障などの世界的な課題や、国内においてはデフレ経済からの脱却、少子化、気候変動や新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた持続可能な経済社会の構築など、内外の歴史的・構造的な変化と課題に直面しており、こうした「時代の転換点」とも言える課題の克服に向け、大胆な改革を進めることにより、新時代にふさわしい経済社会を創造していかなくてはならないとし、「新しい資本主義」は、こうした変化に対応した経済社会の変革を進め、「成長と分配の好循環」を目指すものであるとされた。

令和6年度予算編成に向けた考え方として、内外の環境変化に対応したマクロ経済運営の基本的考え方を示すとともに、構造的賃上げの実現、官民連携による投資の拡大、少子化対策・こども政策の抜本強化を含めた「新しい資本主義」の加速や防衛力の抜本的強化をはじめとした我が国を取り巻く環境変化への対応など、重要政策課題に必要な予算措置を講ずること等により、メリハリの効いた予算編成とする。

また、PDCA や EBPM の取組を推進し、効果的・効率的な支出(ワイズスペンディング)を徹底し、単年度主義の弊害是正に取り組み、事業の性質に応じた基金の活用・事業効果の見える化、経済・財政一体改革における重点課題への対応など中長期の視点に立った持続可能な経済財政運営や社会保障制度の構築等を進めるとした。

予算編成の基本方針

令和6年度予算については、厳しい財政環境の中にあつて、菊池広域連合広域計画に掲げる施策をより一層の効率的な手法を採りつつ効果的に推進するとともに、国の制度変更や、社会経済状況の変化への的確な対応、特に、「新たな日常」などの今後の社会変容を見据えた新たな取組を進めていくため、次の考え方に基づいて予算編成を進めるものとする。

(1) 既存事業の徹底した見直し

- ・新たな政策課題に対し、限られた人員体制・財源の下で解決を図るためには、コロナ時代に合った形に事業をリニューアルするなど、既存事業の抜本的な見直しにより、新たな事業展開に要する「マンパワー」と「財源」を生み出す。

(2) 職員定数の適正化及び長時間労働の抑制

- ・既存事業の統廃合、委託化、業務の効率化等に努め、真に職員が行うべき業務を明確にすることにより、職員定数の適正化について検討を行う。
- ・勤務時間に対する意識を改革し、長時間労働の抑制に取り組む。
- ・会計年度任用職員制度の適切な運用に努める。

(3) 公共事業等の徹底した重点化

- ・投資的経費については、連合債発行を伴うことが多いことから、新発債の抑制を図るためにも徹底した平準化と重点化を図る必要がある。このため、公共事業等については、事業効果の早期発現、緊急性、費用対効果及び後年度財政負担等を十分に勘案し、緊急性の高い対策へ事業を厳選する。

なお、その際には、国の予算の動向や地方債制度の変更を注視し、充当率や交付税措置の有利な起債を最大限活用することで、将来負担を軽減しながら取り組む。

(4) 財政調整基金の適正な管理

市町負担金に依存する広域連合が過度な基金を持つことは、関係市町財政を圧迫する要因にもなりかねないため、一定額(連合分1億円、組合分1億円)を超える財政調整基金については、繰入調整を行い、市町負担軽減を図る。

2) 主な事業

(1) 議会費	予算額	3,003 千円
①広域連合議会事業		2,189 千円
②菊池地域議長会事業		814 千円
(2) 総務費	予算額	106,088 千円
①総務係事業		105,765 千円
給料		17,347 千円
職員手当等		13,573 千円
派遣職員負担金		29,100 千円
②選挙管理委員会事業		31 千円
③監査委員事業		292 千円
(3) 民生費	予算額	65,136 千円
①介護保険事業		51,325 千円
委員報酬（介護認定審査会委員）		11,340 千円
給料		10,188 千円
職員手当等		7,812 千円
派遣職員負担金		11,800 千円
②障がい者福祉係事業		13,811 千円
委員報酬（障害者総合支援審査会委員）		1,755 千円
派遣職員負担金		11,200 千円
(4) 衛生費	予算額	1,656,853 千円
①火葬場事業		78,194 千円
火葬業務（委託料）		28,578 千円
菊池、大津火葬場火葬炉設備改修工事 他（工事請負費）		17,624 千円
②環境衛生係事業		5,219 千円
派遣職員負担金		4,600 千円
③し尿処理場事業		264,021 千円
給料		7,983 千円
職員手当等		6,454 千円
医薬材料費		42,916 千円
運転管理業務（委託料）		71,726 千円
クリーンセンター花房補修工事		62,375 千円
④施設係事業		236,368 千円
給料		16,013 千円
職員手当等		11,967 千円
運営モニタリング支援業務（委託料）		10,291 千円
派遣職員負担金		7,100 千円
旧東部清掃工場解体基金積立金		100,000 千円
⑤クリーンの森事業		587,361 千円
焼却施設・最終処分場運営管理業務（委託料）		560,879 千円
環境影響評価事後調査業務（委託料）		15,012 千円
⑥環境美化センター事業		485,690 千円
環境美化センター等包括管理業務（委託料）		464,868 千円
環境美化センター屋根改修工事		13,750 千円

(5) 消防費	予算額	2,184,951 千円
①常備消防事業		1,710,764 千円
給料		682,275 千円
職員手当等		596,250 千円
被服代		19,816 千円
通信指令システム保守管理業務（委託料）		19,615 千円
②消防施設事業		474,187 千円
泉ヶ丘消防署解体業務（委託料・工事請負費）		32,857 千円
消防本部指令センター仮眠室個室化工事		4,024 千円
備品購入費（高規格救急自動車）		38,495 千円
消防救急デジタル無線設備部分更新整備		295,759 千円
消防施設整備基金積立金		100,000 千円
(6) 公債費	予算額	860,405 千円
①衛生費償還事業 元金		704,519 千円
②衛生費償還事業 利子		48,164 千円
①消防費償還事業 元金		103,850 千円
②消防費償還事業 利子		3,872 千円
(7) 予備費	予算額	22,000 千円

3) 【 当初予算の推移 】

菊池広域連合は、旧菊池郡市8市町村を構成市町村として平成10年7月1日に発足しました。その後、平成の大合併を経て2市2町の構成市町となり現在に至っています。

発足当時の処理事務は以下の5つとなっていました。

- ・「関係市町村の一体的整備に係る調査研究及び連絡調整に関すること」
- ・「菊池広域市町村圏計画の策定及び同計画の実施に必要な連絡調整に関すること」
(平成17年3月22日の新菊池市誕生により削除)
- ・「広域行政体制の整備に関すること」
- ・「関係市町村職員等の集合研修に関すること」
- ・「墓地、埋葬等に関する法律に基づく火葬場の設置、管理及び運営に関すること」

その後、以下の処理事務を追加しています。

- ・平成11年4月に「介護保険法に基づく介護認定審査会の設置及び運営に関すること」
 - ・平成13年5月に「し尿処理施設の設置、管理及び運営に関すること」
 - ・平成17年2月に「消防に関すること」
 - ・平成17年2月に「熊本県知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例第2条の規定により広域連合が処理することとされている事務に関すること」
 - ・平成18年4月に「障害者総合支援に関する法に基づく介護給付費等の支給に関する審査会の設置及び運営に関すること」
 - ・平成24年4月に「墓地、埋葬等に関する法律第9条第1項の規定により関係市町が行う火葬に係る焼骨を収蔵する納骨堂の設置、管理及び運営に関すること」
 - ・令和5年4月に「ごみ処理施設の設置、管理及び運営に関する業務」
- 以上のような処理事務の追加に伴い、現在の予算規模となりました。

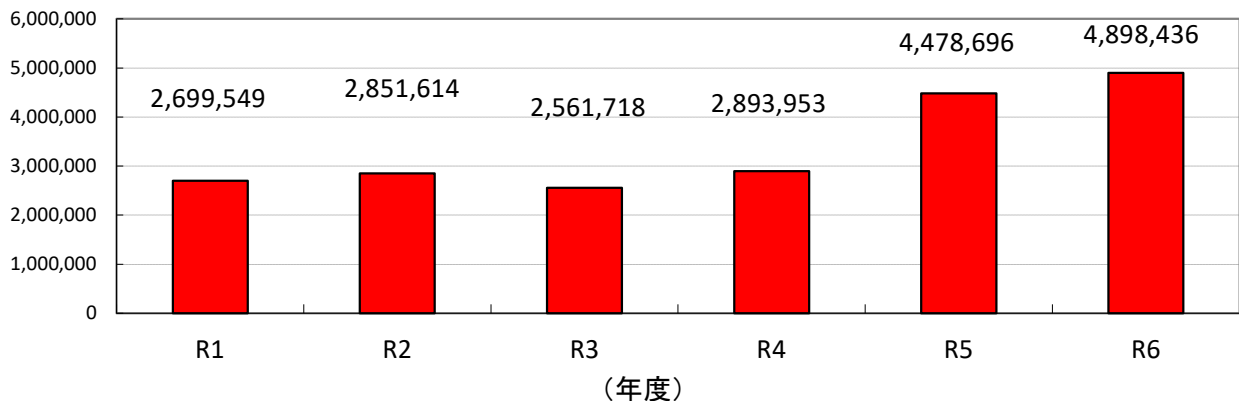
令和6年度については、菊池環境保全組合から引き継いだ環境美化センター屋根改修工事、東部清掃工場解体設計業務、泉ヶ丘署解体工事、救急自動車の整備、消防救急デジタル無線設備部分更新等を予定しております。

(単位：千円、%)

区 分	R1	R2	R3	R4	R5	R6
当初予算額	2,699,549	2,851,614	2,561,718	2,893,953	4,478,696	4,898,436
前年度伸率	6.6	5.6	△ 10.2	13.0	54.8	9.4

当初予算総額の推移

単位：千円



4) 歳入予算項目別構成比

令和6年度の菊池広域連合一般会計予算が、令和6年3月25日に開催された令和6年第1回菊池広域連合議会定例会で可決されました。予算額は、歳入歳出それぞれ48億9,843万6千円で、前年度の当初予算44億7,869万6千円と比較して4億1,974万円（前年比9.37%増）の増額となっています。

(1) 歳入

端数により100にならないものもあります

(単位：千円、%)

区分	令和6年度		令和5年度		対前年比	説明
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
分担金及び負担金	3,895,088	79.52%	3,340,715	74.59%	554,373	市町負担金 菊池市 1,135,792 合志市 1,144,135 大津町 767,131 菊陽町 848,030
使用料及び手数料	243,049	4.96%	252,899	5.65%	△ 9,850	火葬場使用料、ごみ処分手数料、消防費手数料 他
国庫支出金	0	0.00%	0	0.00%	0	
県支出金	208	0.00%	6,012	0.13%	△ 5,804	県事務移譲交付金
財産収入	119	0.00%	950	0.02%	△ 831	財政調整基金利子 他
繰入金	188,331	3.84%	295,604	6.60%	△ 107,273	財政調整基金繰入金、旧東部清掃工場解体基金繰入金
繰越金	55,075	1.12%	117,455	2.62%	△ 62,380	前年度繰越金
諸収入	166,866	3.41%	198,661	4.44%	△ 31,795	売電収入、鉄屑等売払収入普通預金利子、自動販売機電気料 他
連合債	349,700	7.14%	266,400	5.95%	83,300	環境美化センター屋根改修工事、泉ヶ丘消防署解体工事・設計業務、消防救急デジタル無線設備部分更新 他
合計	4,898,436	100.0%	4,478,696	100.0%	419,740	

連合の予算については、歳入の大半が関係市町の負担金（令和6年度構成比：79.52%）であることから、関係市町の負担金については、財政担当課等との協議、調整の上、予算編成を行っています。関係市町の負担金の算定にあたっては、特に財政調整基金からの繰入金によって調整を行っており、関係市町負担金が単年度において極端に増えないよう調整しております。また、基金については、財政調整基金残高（年度末）目標を2億円と設定し、消防施設整備のため消防施設整備基金と、菊池環境保全組合から引き継いだ東部清掃工場の解体基金を別途約1億円ずつ積み立てることとしております。

これらの目標設定に基づき今年度繰入金を調整し、負担金を決定しています。今年度の市町負担金は38億9,508万8千円で、5億5,437万3千円の増額（前年比+16.59%）です。

事業別負担金の主な増・減額内訳は、管理費（議会費・総務費）分は1,387万5千円の増、火葬場費分は3,803万5千円の減、し処理費分は1,559万1千円の増、消防費分は1億4,125万9千円の増、ごみ処理費分は4億2,374万7千円の増となっています。

使用料及び手数料は985万円の減額（前年比▲3.89%）で、主な理由は、ごみ処分手数料の減によるものです。

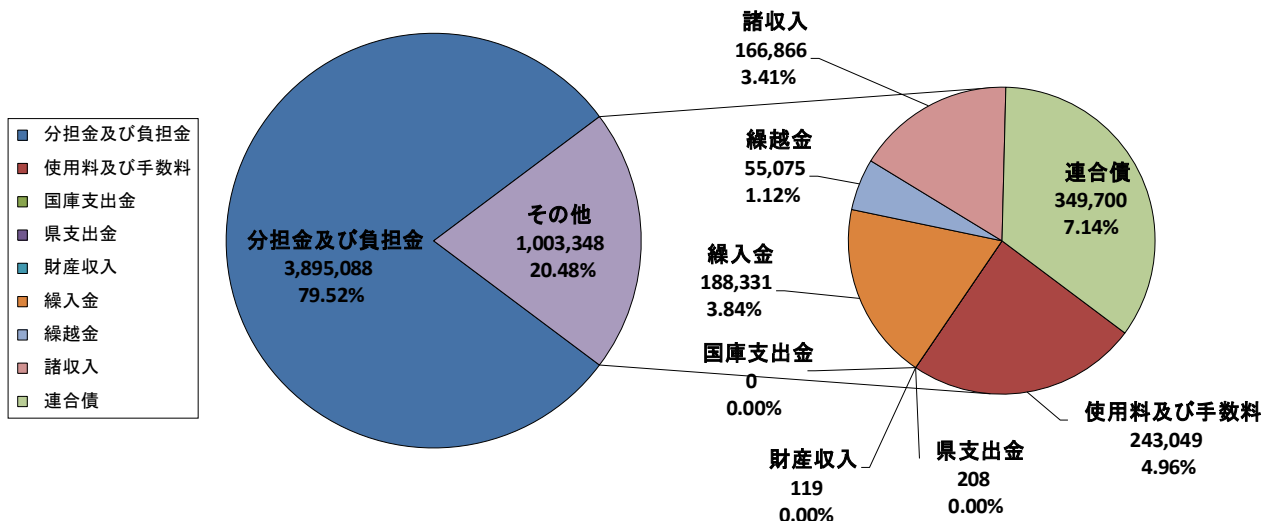
繰入金は1億727万3千円の減額（前年比▲36.29%）で、主な理由は、ごみ処理費分の減によるものです。

繰越金は6,238万円の減額（前年比▲53.11%）で、主な理由は、菊池環境保全組合打ち切り決算に伴う剰余金の減によるものです。

諸収入は3,179万5千円の減額（前年比▲16.00%）で、主な理由は、ごみ焼却施設の売電収入、鉄屑等売払収入の減によるものです。

連合債は8,330万円の増額（前年比+31.27%）で、主な理由は、消防債の増によるものです。

歳入予算項目別構成比 48億9,843万6千円（単位：千円）



5) 歳出予算目的別構成比

歳出については、菊池広域連合の令和6年度予算編成方針等を作成し、予算要求基準を設定するとともに、関係市町の財政担当課等の指摘を受けながら、併せて需用費等の歳出全般の見直し、削減に努めました。歳出（目的別）の年度比較は下記のとおりです。

(2) 歳出（目的別）

端数により100にならないものもあります

区 分	令和6年度		令和5年度		対前年比	説 明
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
議会費	3,003	0.06%	6,306	0.14%	△ 3,303	議会事業、議長会事業
総務費	106,088	2.17%	90,550	2.02%	15,538	一般管理費、選挙管理委員会費、監査委員費
民生費	65,136	1.33%	65,674	1.47%	△ 538	介護保険費、障がい者福祉費
衛生費	1,656,853	33.82%	1,628,548	36.36%	28,305	火葬場費、清掃総務費、し尿処理費、ごみ処理費
消防費	2,184,951	44.61%	2,037,412	45.49%	147,539	常備消防費、消防施設費
公債費	860,405	17.56%	628,206	14.03%	232,199	償還元金・利子
予備費	22,000	0.45%	22,000	0.49%	0	
合 計	4,898,436	100.0%	4,478,696	100.0%	419,740	

議会費は330万3千円の減額（前年比▲52.38%）で、主な理由は、隔年実施の正副連合長・議会議員合同視察研修にかかる旅費の減によるものです。

総務費は1,553万8千円の増額（前年比+17.56%）で、主な理由は、個人情報安全管理措置対応、ネットワーク整備委託料の増によるものです。

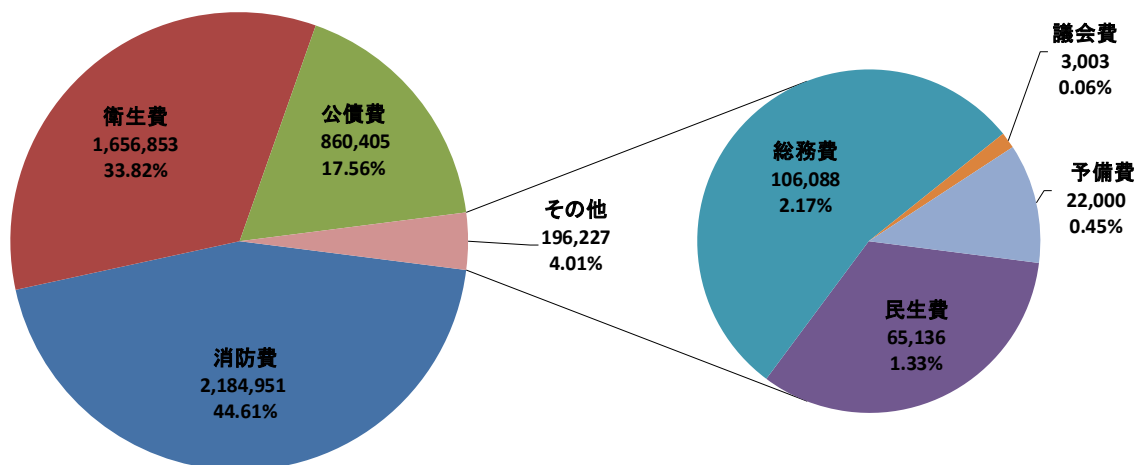
民生費は53万8千円の減額（前年比▲0.82%）で、主な理由は、派遣職員負担金の減によるものです。

衛生費は2,830万5千円の増額（前年比+1.74%）で、主な理由は、東部清掃工場解体調査設計委託、環境美化センター屋根改修工事によるものです。

消防費は1億4,753万9千円の増額（前年比+7.24%）で、主な理由は、職員人件費、消防救急デジタル無線設備部分更新工事によるものです。

公債費は2億3,219万9千円の増額（前年比+36.96%）で、主な理由は、クリーンの森合志建設に伴う起債の元金償還（2億5,862万1千円）によるものです。

歳出予算(目的別)構成比 48億9,843万6千円 (単位:千円)



■ 消防費	... 常備消防費、消防施設費
■ 衛生費	... 火葬場費(無縁仏納骨堂費)、清掃総務費、し尿処理費、ごみ処理費
■ 公債費	... 償還元金・利子
■ 民生費	... 介護保険費、障害者福祉費
■ 総務費	... 一般管理費、選挙管理委員会費、監査委員費
■ 議会費	... 議会事業、議長会事業
■ 予備費	

6) 歳出予算性質別構成比

歳出（性質別）の年度比較は下記のとおりです。人件費が一番多く（33.63%）、次いで物件費（32.57%）、公債費（17.56%）、普通建設事業費（7.49%）、積立金（4.09%）、維持補修費（2.03%）、補助費等（1.62%）、扶助費（0.55%）、予備費（0.45%）の順番になっています。

(3) 歳出（性質別）

端数により100にならないものもあります

(単位：千円、%)

区 分	令和6年度		令和5年度		対前年比	説明
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
人件費	1,647,331	33.63%	1,457,907	32.55%	189,424	報酬、給料、職員手当等、共済費
物件費	1,595,191	32.57%	1,541,623	34.42%	53,568	旅費、交際費、需要費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費
維持補修費	99,657	2.03%	127,767	2.85%	△ 28,110	火葬場、し尿処理施設、消防施設等修繕
扶助費	27,165	0.55%	26,880	0.60%	285	児童手当
補助費等	79,454	1.62%	81,542	1.82%	△ 2,088	報償費、役務費（保険料等）、負担金、派遣職員負担金、公課費
普通建設事業費	367,111	7.49%	392,619	8.77%	△ 25,508	
(1) 補助事業費					0	泉ヶ丘消防署解体工事・設計業務、消防救急デジタル無線設備部分更新
(2) 国直轄事業負担金					0	
(3) 単独事業費	392,619		392,619		0	
公債費	860,405	17.56%	628,206	14.03%	232,199	償還元金・利子
積立金	200,122	4.09%	200,152	4.47%	△ 30	財政調整基金積立金、中央卸売市場解体基金積立金及び利息
予備費	22,000	0.45%	22,000	0.49%	0	
合 計	4,898,436	100%	4,478,696	100%	419,740	

人件費は1億8,942万4千円の増額（前年比+12.99%）で、主な理由は、消防費の増額（前年比+1億6,478万8千円）によるものです。

物件費は5,356万8千円の増額（前年比+3.47%）で、主な理由は、衛生費（ごみ処理費）の委託料の増額によるものです。

維持補修費は2,811万円の減額（前年比▲22.00%）で、主な理由は、火葬場費の工事請負費の減額によるものです。

補助費等は208万8千円の減額（前年比▲2.56%）で、主な理由は、派遣職員負担金の減額によるものです。

普通建設事業費は2,550万8千円の減額（前年比▲6.50%）で、主な理由は、桜消防署建設費の減額によるものです。

公債費は2億3,219万9千円の増額（前年比+36.96%）で、主な理由は、クリーンの森合志建設に伴う起債の元金償還によるものです。

積立金は30千円の減額（前年比▲0.01%）で、主な理由は、基金積立金利子によるものです。

歳出予算(性質別)構成比 48億9,843万6千円 (単位:千円)

